

東九州自動車道 ^{しぶし}志布志IC～^{すえよし}末吉財部IC 全線開通1年後の整備効果

平成16年より大隅河川国道事務所が整備を進めてきました東九州自動車道 志布志IC～末吉財部ICは、令和3年7月17日の志布志IC～鹿屋串良JCTの開通により、全線約48kmが開通しました。

開通から約1年が経過し、物流や救急医療、観光、企業立地、防災等、沿線地域において発現し始めている整備効果についてお知らせいたします。

■交通量

～開通1年後の交通量は開通当初の約4倍に増加～

■所要時間の短縮

～志布志市・鹿屋市と鹿児島市の所要時間が最大約1時間短縮～

■整備効果

◇所要時間の短縮に伴う整備効果

～物流の効率化に貢献～

輸送時間の短縮により、飼料の出荷など地域産業の活性化を支援

～救急搬送の時間短縮等により患者の負担が軽減～

搬送時間の短縮、救急車の揺れの軽減により、患者の安定輸送を実現

～観光・交流が活性化～

大隅半島を周遊する修学旅行が実現

◇高速道路ネットワークの形成に伴う整備効果

～地域を支える企業が続々進出～

沿線市町では、10年間で約40社が立地し、約660名の雇用を創出

～災害時の代替路として機能～

南海トラフ地震発生時の津波による、道路浸水が発生した場合等の代替路を確保

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

技術副所長

なかしま 中島 よういち 洋一

調査第二課長

やなぎばし 柳橋 たかひろ 孝博

TEL: 0994-65-2541(代表)

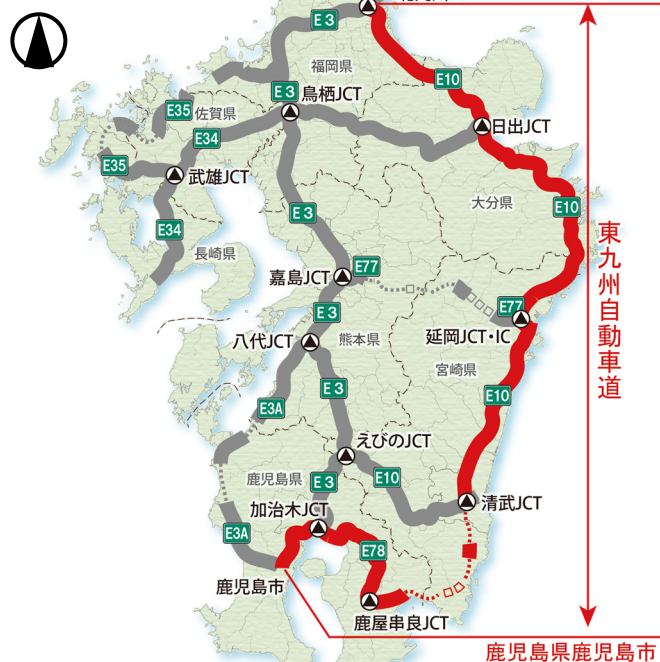
URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/>

○東九州自動車道は、福岡県北九州市を起点とし、大分・宮崎の各県を結び、鹿児島県鹿児島市に至る高速自動車国道。

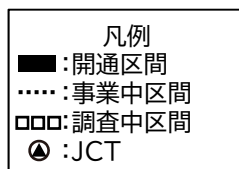
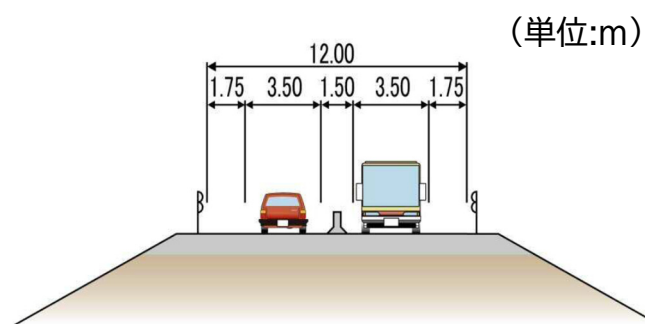
○志布志IC～末吉財部ICは、九州の高速道路ネットワークの一部を形成し、大隅地域へのアクセス強化や、物流の効率化による地域産業の活性化に寄与する道路。

○平成22年3月の曾於弥五郎IC～末吉財部ICの開通以降、順次開通し、令和3年7月の志布志IC～鹿屋串良JCTの開通によって全線48kmが開通。

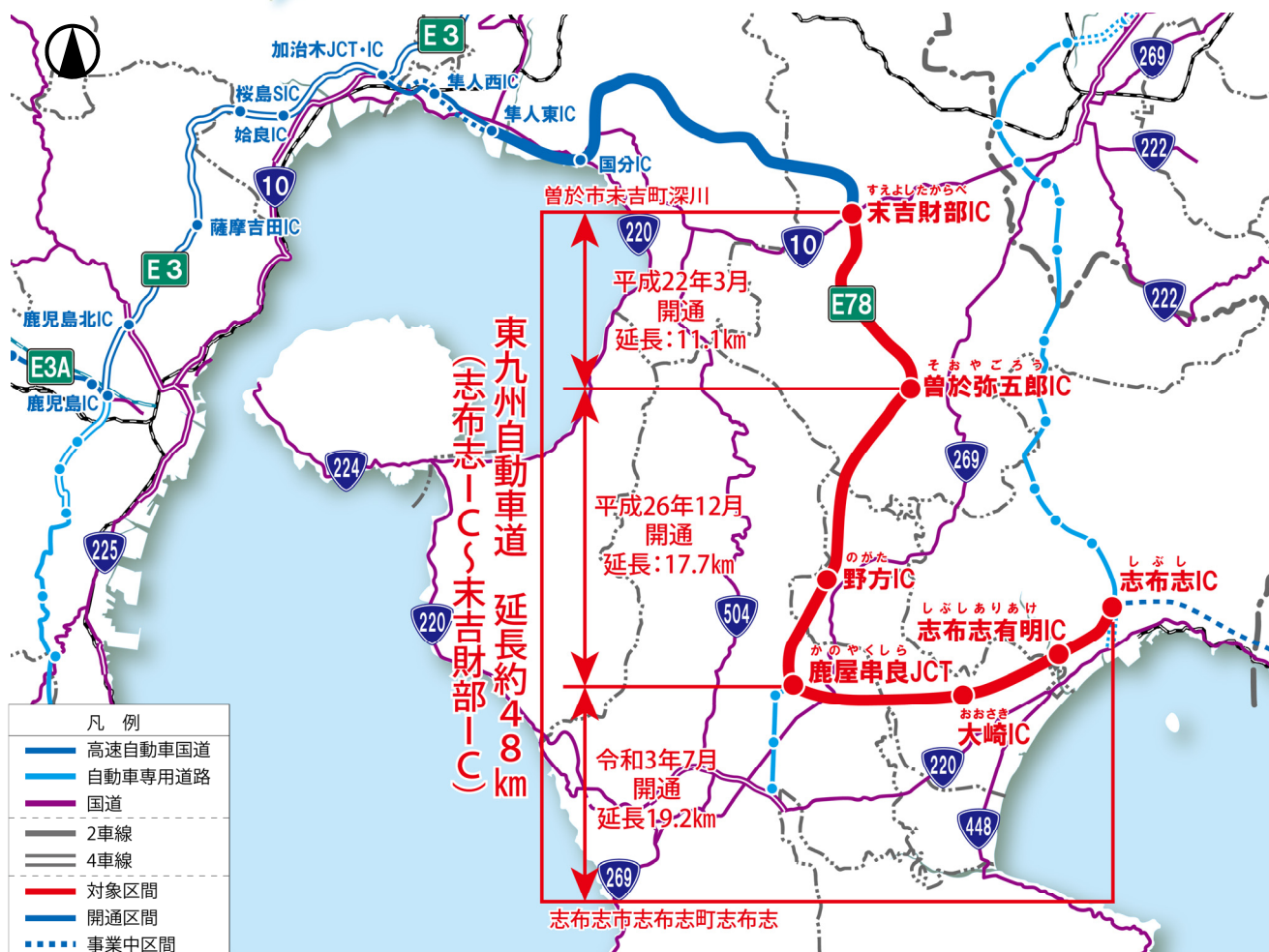
■広域図

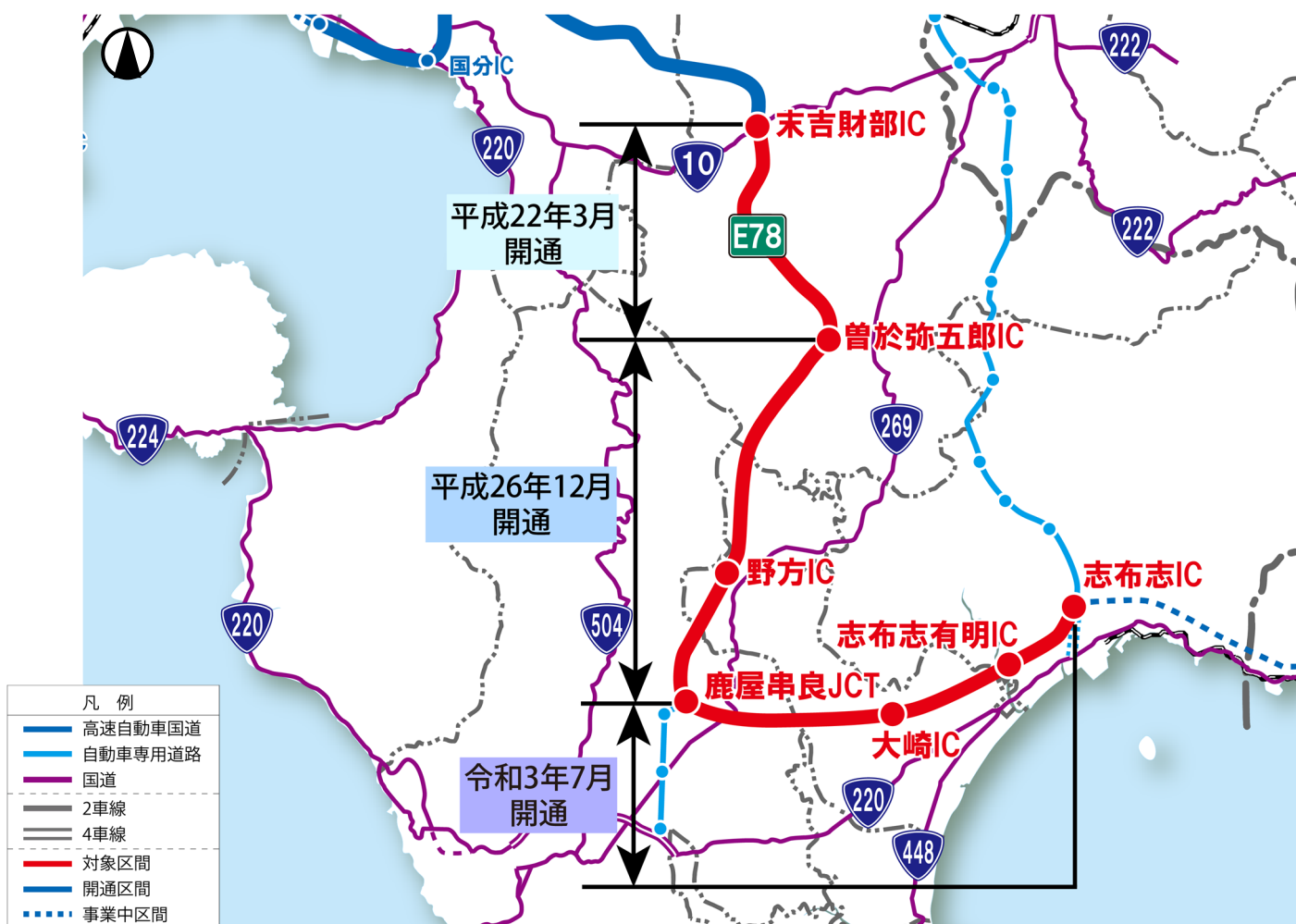


■横断図



■路線図





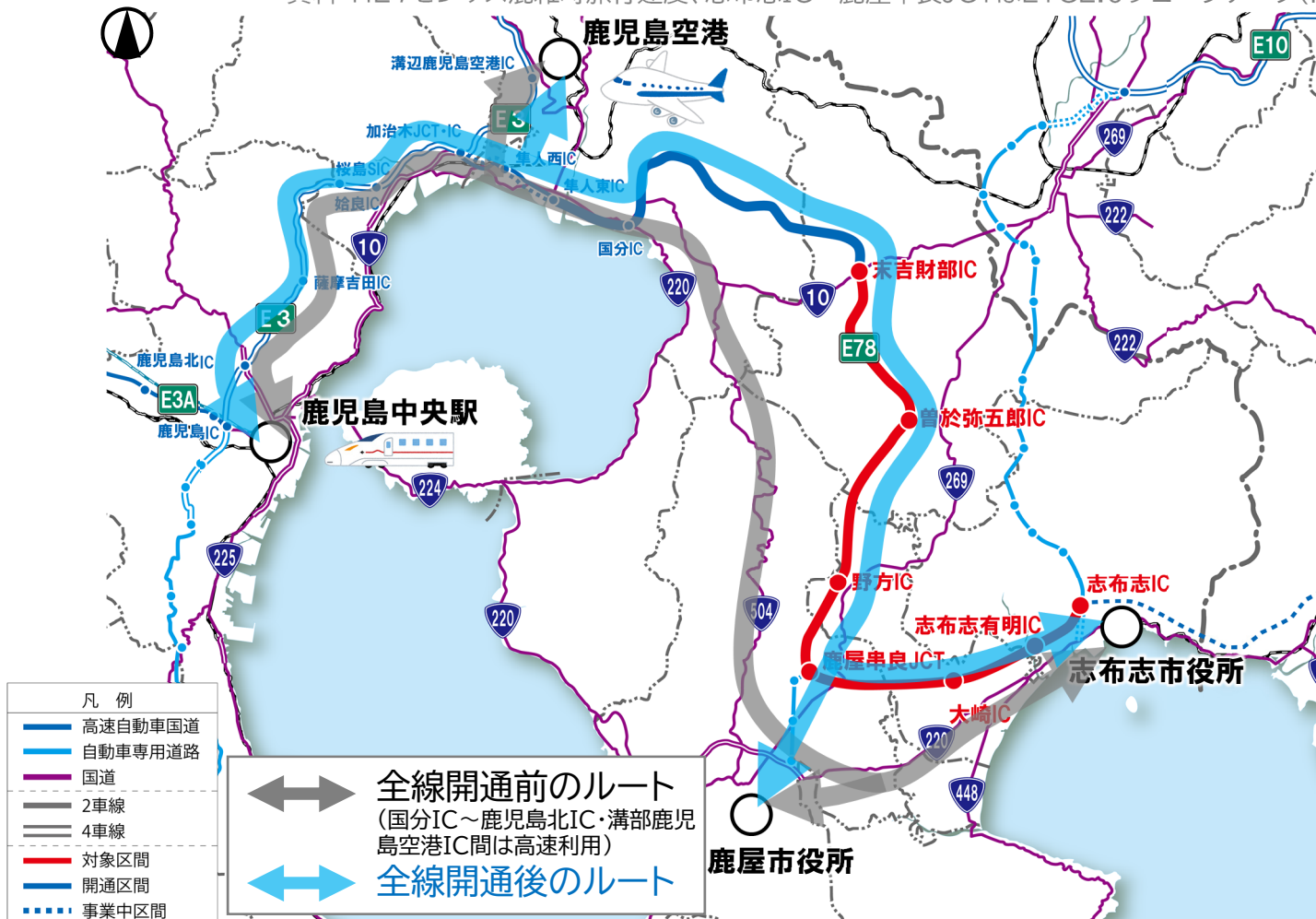
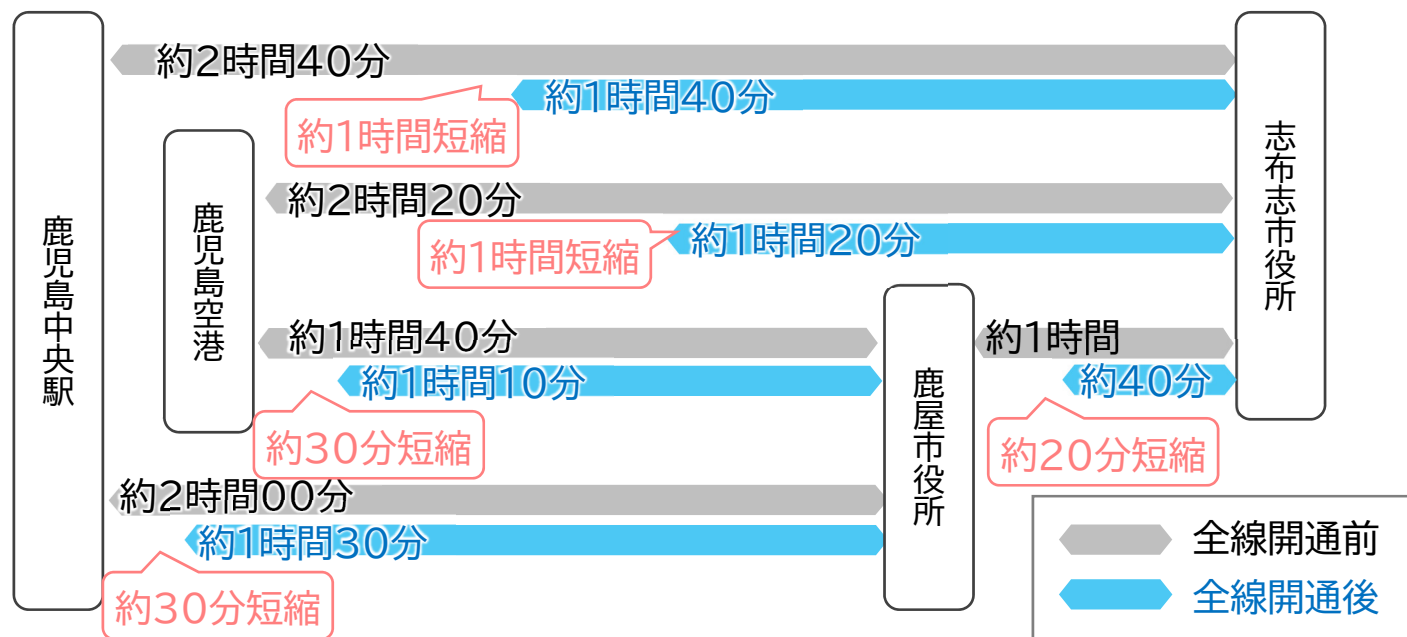
～志布志市・鹿屋市と鹿児島市の所要時間が最大約1時間短縮～

○志布志IC～末吉財部ICの開通により、志布志市から鹿児島空港および鹿児島中央駅への所要時間が、約1時間短縮。

○また、鹿屋市から鹿児島空港および鹿児島中央駅への所要時間が、約30分短縮。

○さらに、志布志市と鹿屋市の所要時間が、約20分短縮。

■所要時間の変化



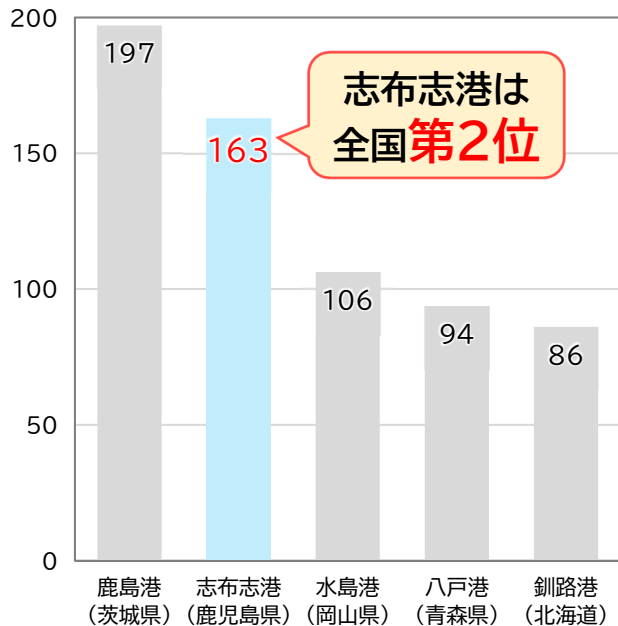
～物流の効率化に貢献～

- 南九州の畜産を支える志布志港は、全国第2位の飼料用とうもろこしの輸入量を誇り、飼料に多く配合されるとうもろこしが志布志港にある飼料工場から各地の畜産農家へ輸送。
- 東九州道の開通以降、輸送時間の短縮が実現し、トラックドライバーの拘束時間が短縮する等、労働環境の改善にも寄与。

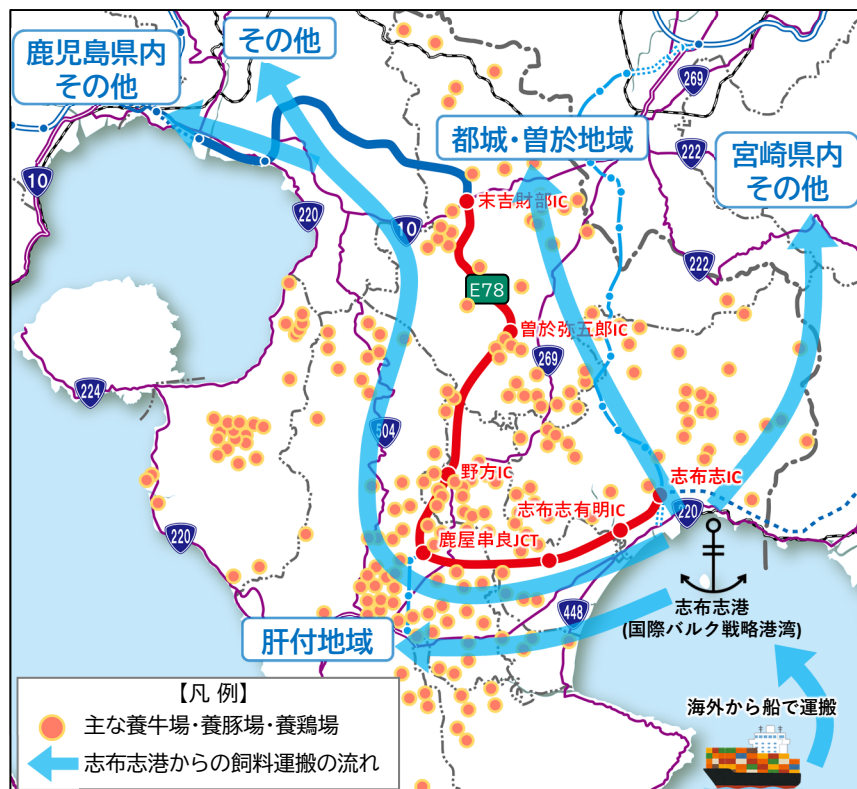
■港別の輸入量

【飼料用とうもろこし輸入量(R3)】

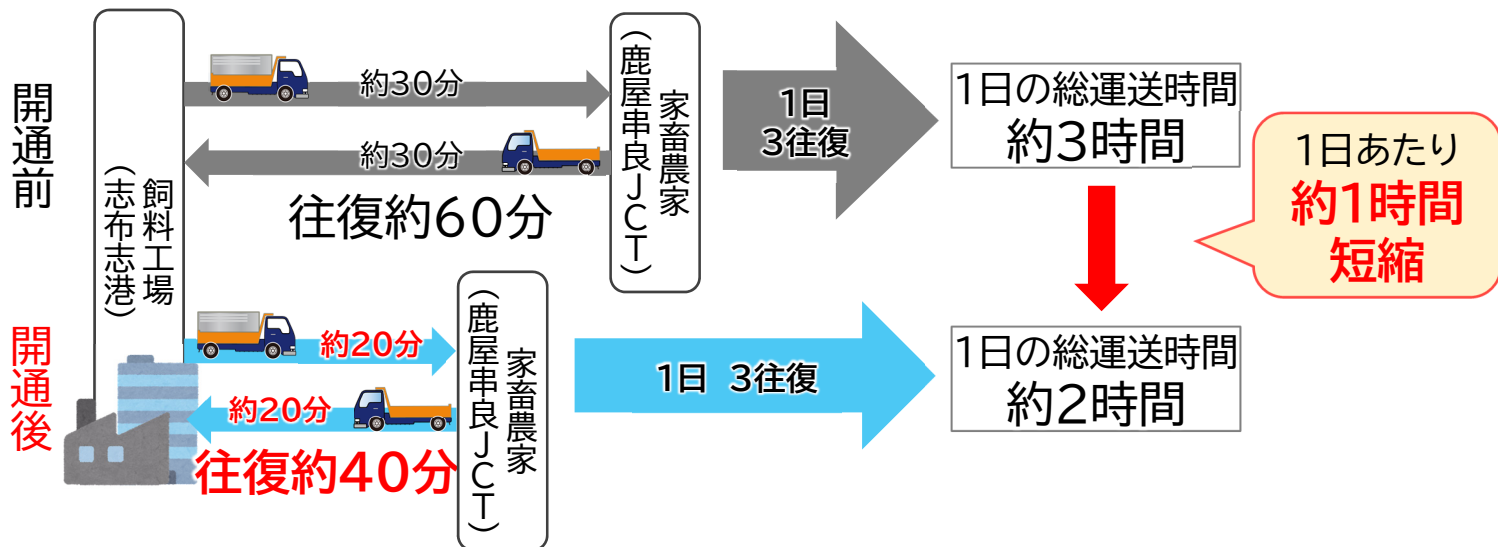
(単位:万t)



■志布志港から飼料の輸送先



■輸送時間の短縮



- ・ 農畜産用の飼料を志布志港から鹿屋串良JCT周辺の畜産農家などに毎日2～3往復程度輸送しています。
- ・ 東九州道の開通により、片道約10分の時間短縮が実現し、一日の運搬が約1時間早く終了することができました。
- ・ **ドライバーの労働時間の改善など、働き方改革に大きく貢献**しています。

【飼料運搬企業】



出典:R4.9ヒアリング結果

～救急搬送の時間短縮等により患者の負担が低減～

- 志布志市や曾於市では、鹿屋方面への救急搬送が年間1,015件(1日平均3件)で、このうち9割以上が東九州自動車道を利用しており、搬送時間が最大で約30分短縮。
- 搬送時間の短縮により鹿屋市の病院へ直接搬送できるようになったほか、救急車の揺れが少なくなるなど患者への負担が軽減。

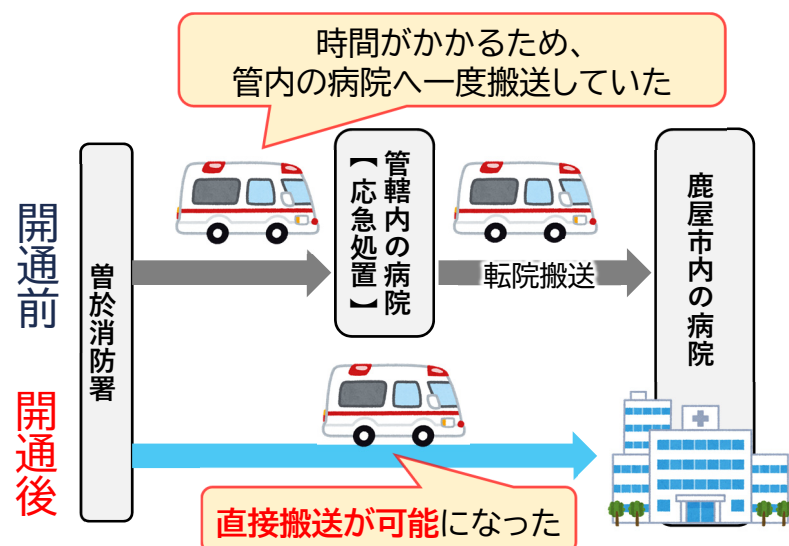
■曾於広域救急医療圏から鹿屋方面への搬送件数(R3)

曾於広域救急医療圏から
鹿屋方面へ**1,015件/年**
(毎日3件のペース)
このうち**9割以上**が
東九州自動車道を利用



資料:大隅曾於地区消防組合 R4.9ヒアリング結果

■救急搬送の変化



■救急隊の声

鹿屋方面への搬送について

- ・ 鹿屋方面への搬送の**9割以上が東九州自動車道**を利用しています。
- ・ 鹿屋市方面の搬送は**末吉財部IC～鹿屋串良JCT**間で約30分、**志布志IC～鹿屋串良JCT**間で約10分短縮しました。
- ・ 東九州自動車道を利用することで、信号やカーブによる減速・発進などの**揺れが少なく**なり患者への負担が軽減しています。



【大隅曾於地区消防組合】

出典:R4.1ヒアリング結果

資料:大隅曾於地区消防組合 R4.9ヒアリング結果

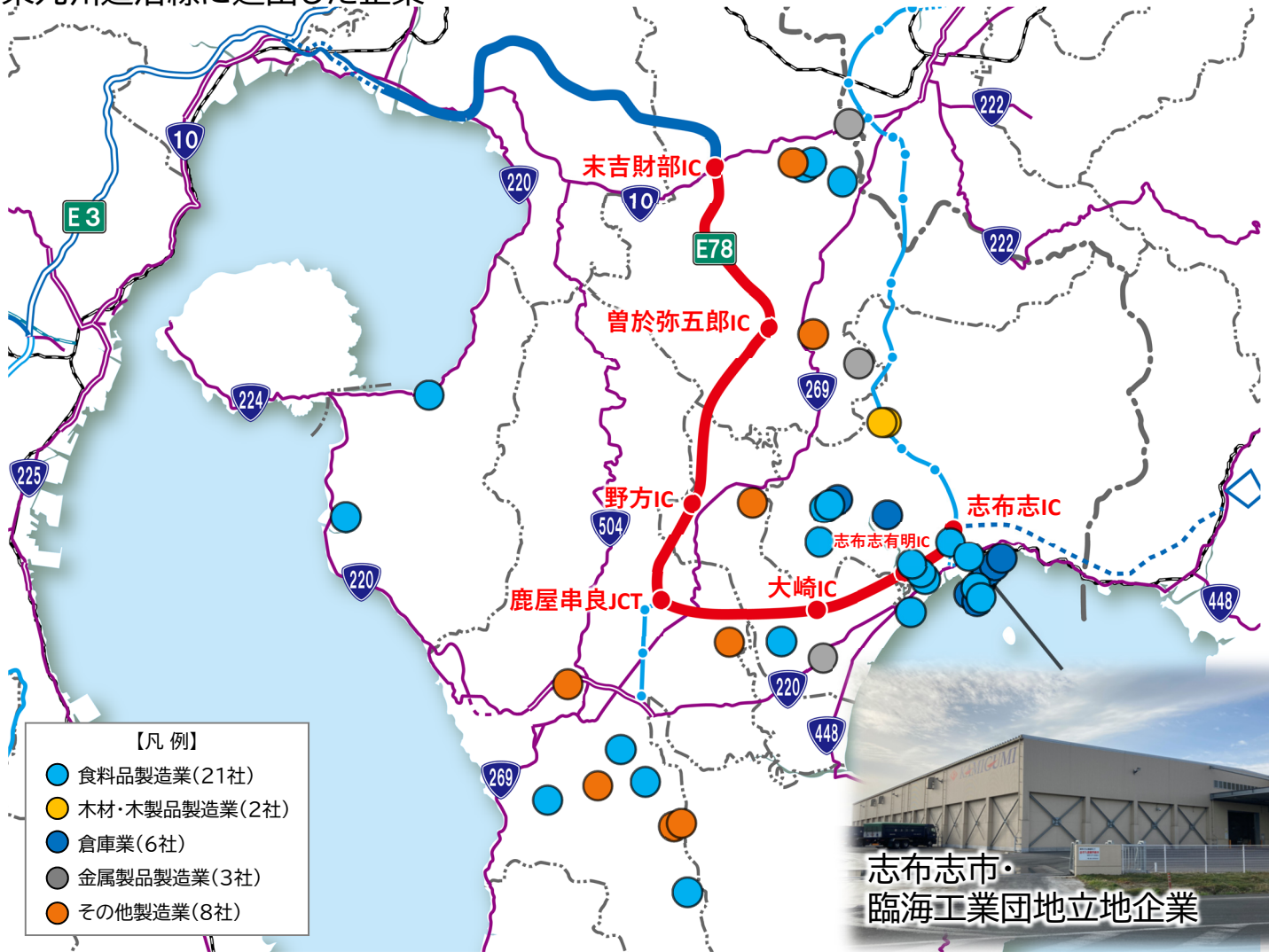
○鹿児島空港と観光地、観光地間の所要時間の短縮により、これまで組めなかった大隅地域を周遊する修学旅行ツアーが新設されるなど観光交流が増進。

写真:【鹿屋航空基地史料館】鹿屋市 【志布志湾大黒イルカランド】串間市

～地域を支える企業が続々進出～

○東九州自動車道の整備につれ、沿線の自治体では企業進出が相次いでおり、約10年間で約40社が立地し、新たに約660人の雇用を創出。

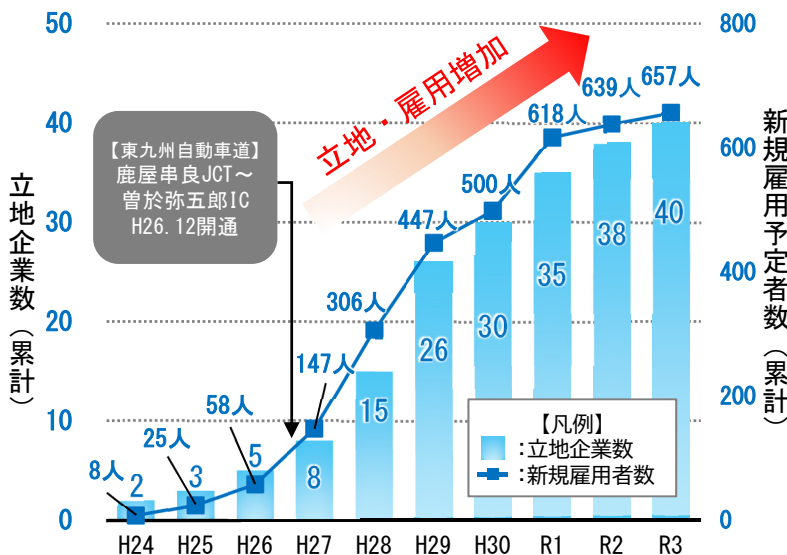
■東九州道沿線に進出した企業



出典：鹿児島県HP・企業立地協定

■立地企業数・新規雇用者

【対象市町：鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町】



出典：鹿児島県HP・企業立地協定

■地域・立地企業の声

【志布志市企業立地推進係】

- ・ 東九州自動車道の開通によって企業立地が相次いでいます。
- ・ 飼料製造業や物流業、大隅地域の農畜産を活かした食品製造業の立地が多くなっています。



資料：R4.1ヒアリング調査結果

- ・ 東九州自動車道へのアクセス性・利便性を考慮して、志布志市に立地しました。
- ・ 鹿児島市内への輸送の際に東九州道を利用しており、今後も利用は増える予定です。

【立地企業】



資料：R4.1ヒアリング調査結果

～災害時の代替路として機能～

- 国道220号や国道504号では過去に土砂災害や道路冠水による通行止めが発生。
- 平成28年の台風の際には、国道220号の迂回路として東九州自動車道が活用された。
- 南海トラフ地震発生時の津波により国道220号が浸水した場合等の代替路(ダブルネットワーク)として効果が期待される。



■水産加工工場の声

- ・ H28.9月の台風による国道220号の通行止めの際は東九州道に迂回したことで、通常通り出荷することができました。
- ・ 国道220号の強化、**代替路の確保**が垂水の水産業振興に必要だと思います。

出典: H29.8ヒアリング結果

■消防組合の声

- ・ 東九州道が開通したことで、災害が発生した際などの緊急時における**道路の選択肢が増加**しました。

出典: R4.1ヒアリング結果

■国道220号の被災状況

写真①



▲崩土のあった国道220号
(垂水市牛根境・H24.6)

写真②



▲崩土のあった国道220号
(垂水市牛根境・R4.9台風)

写真③



▲冠水した国道220号
(大崎町大字仮宿地区・R2.7豪雨)